



平成30年度 ひたちなか市立平磯中学校 学校経営の構想

県教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し 協力しあう心を育てる

経営の柱

【活力ある平磯中学校の創造】

本校の教育目標

「豊かな心を持ち
たくましく生きる生徒の育成」

ひたちなか市教育目標

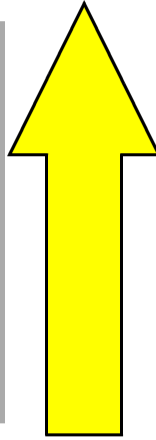
- ひとりひとりの能力を開発し、豊かな人間性をつちかいます
- じょうぶな身体をつくり、たくましい心を養います
- 家庭や地域と力をあわせ、豊かな心を育みます
- ふるさとを愛し、協力しあう心を育てます
- 世界に視野を広げ、国際人としての自覚を高めます

校訓

「至誠 博愛 礼儀 勤労 自立」

目指す生徒像

- ・ 自ら学ぶ生徒の育成
「書く姿勢」「聴く姿勢」を重視して
- ・ 規律を守る生徒
あいさつ・返事を重視
- ・ 目標に向かって行動する生徒
「意識付け」→「具現化」→「振り返り」→「改善」

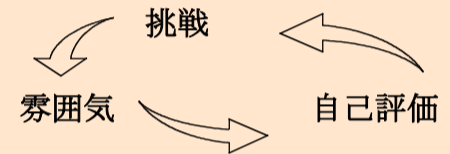


求める教師の姿

- ・ 生徒が主体的に学ぶ、授業改善に努める教師
（「魅力ある学校づくり」のために）
生徒が見通しをもって学ぶ課題の在り方
課題と正対したまとめと次時への意欲
- ・ 生徒理解のスキルを高める教師
Q-Uの分析（教師との関係を重視）
人権意識をもつ 生徒の言動の真を読み取る
- ・ チームの一員として共に動く教師
共通認識・同一歩調の意識の徹底

平成30年度生徒会活動基本方針

「挑戦する勇気が大きな成長へ」



平成30年度校内研修

「特別な教科 道徳」 重点価値 A- (1) 自主 自立 自由と責任

生徒が主体的に学びに向かう姿を求めて（自主学習の充実）：魅力ある学校づくり

組織目標

【正しい姿勢 100%】

1年

「自己目標の実現に向け、粘り強く努力する」

- あいさつ・返事をしっかりする。
- 授業に集中する。
- 自分で判断し、行動することができる。
- 何事にも目標をもち、それに向けて努力する。

2年

「良く聴き、考え、主体的に行動する」

- 授業を大切にし、学ぶ姿勢を常にもつ。
- 一人でも、あいさつや返事をしっかりする。
- 自己判断・自己決定することができる。

3年

「自分のよさを生かし、夢の実現を果たそう」

- 授業に真剣に取り組む。
- 何事にも目標をもって取り組む。
- 目標をもち、それに向けて努力する。

主体的に学び学力を高める生徒の育成	安心安全な教育環境づくり	意欲をもって自分の考えで行動できる生徒の育成
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の学びの質を高める。黄金の3週間で授業の受け方、自主学習の仕方を身に付ける（手引き参照） ・ 見通しをもって主体的に学ぶ課題提示と課題に正対したまとめと次時への意欲の徹底 ノート展の実施（前期・後期） ・ 基礎的な学びの定着 学習規律の徹底「はい～です」「話し手に体を向ける」 レベルアップテスト実施（毎週木 5教科） ・ 読書量を増やす（年間 30冊、3年間 150冊）朝読書の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の視点を統一する 生活の決まりの同一歩調（常に確認） 生徒への言動に配慮する（人権意識） ・ 有限実行の信念 生徒の不十分な点に視点を当て、実効性のあるものを確実に成し遂げる。 ・ 黙働（廊下の歩行 集会 清掃） ・ 清潔な環境づくり 一日の終わりに教室内を整理整頓する（全職員で共通認識で） 清潔な昇降口で生徒を出迎える ・ Good Job カードの有効活用 普通の子どもにしっかりと目を向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的意識をもって行動する生徒の育成 生徒会活動基本方針の意識付け 行事ごとのスローガンの練り上げと確実な実践（生徒会活動基本方針、学年目標と連動して…生徒の不十分な所に視点を当てて） 生徒個々の目的意識を高めた部活動の在り方（部活動カード） ・ そろえてあいさつ（姿勢 声 分離礼） 授業の始まりと終わり 朝、帰りのあいさつ 部活動 教師の意識の統一 ・ 生活の記録の活用（自己決定・自己責任） ・ 生徒集会の実施

「チームとして動く教師集団」有言実行の徹底

- ・ 教員評価、学校評価の目標の連鎖
- ・ 研修の機会を生かした、ミドルリーダーの育成
- ・ 教員評価の面談の重視（相互理解の場とする）
- ・ コンプライアンスブックを活用した服務規律の徹底

「信頼される学校づくりのために」

- ・ 福祉課・SSWとの連携による生徒支援（貧困家庭生徒の支援）・スクールカウンセラーや特別支援学校との連携による配慮を要する生徒の理解
- ・ 小中連携及び阿字ヶ浦中との連携の充実（統合校を意識して）